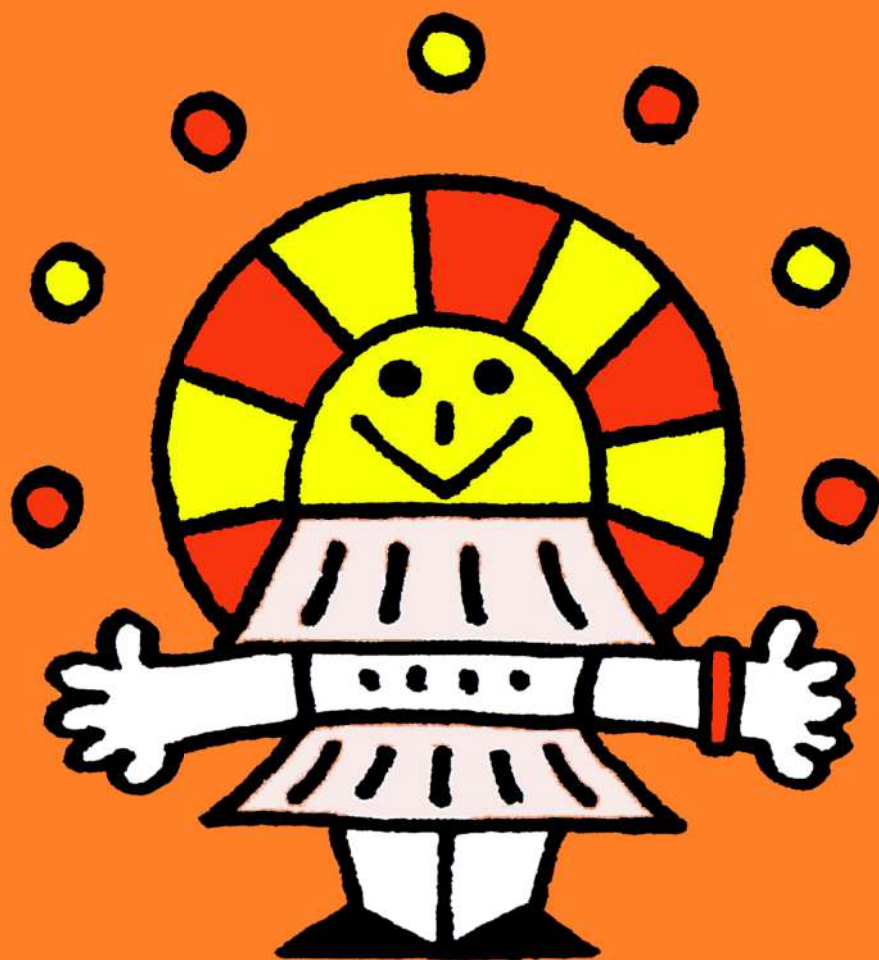


ひめじ おれんち” プロジェクト



進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア！



ひめじ おれんち”
(ひめじ認知症啓発協議会)

2020プロジェクト概要
(活動記録)

<http://h-294.com/orange/>



ひめじ おれんち` (ひめじ認知症啓発協議会) は、

- (1) 認知症の啓発に関する協議
- (2) 認知症に関する啓発資料の作成、勉強会の開催
- (3) 認知症の啓発イベントの企画
- (4) 認知症の啓発に関するネットワークづくり

を行っています。

【活動の目的】

わが国は、類をみない「超高齢化社会」に突入しました。それにともない、「認知症」を発症する方が、これまで以上に確実に増加します。つまり、「認知症」は、私たちにとって大変身近な病気であり、重大な生活課題にもなっているのです。

こうしたことから、「認知症」について正しく理解し、差別や偏見をなくして「認知症」の早期発見・早期診断につなげていくとともに「認知症」のご本人やそのご家族が安心してこれまでと同様に自宅で、そして地域で暮らし続けることができるような支援を行えるようになることが、とても重要になっています。

姫路市においても、地域の皆さんが、「認知症」になられたご本人やそのご家族のために、自分のできる範囲で支援ができる応援者(サポーター)になっていただくための「認知症サポーター養成講座」等、様々な啓発活動が推進されています。こうした活動が、より身近な生活に定着するためには、行政による働きかけだけでなく、当事者から一般市民・企業まで多様な参画による、市民全体・地域全体の課題として、自分たちの事として、一緒に参画できる啓発活動が必要です。

そこで、私たちは、認知症に関わる様々な人が共に集い、社会での不安感、孤立感を解決し、すべての人が心豊かに安心して暮らせるよう、一人でも多くの方に「認知症」について正しい理解を啓発することを目的として、様々な業種の企業・法人有志の参画・協働により「ひめじ認知症啓発協議会」を設立し、活動しています。

【ひめじ おれんち` 実行委員2020】

座長 武田 英樹 (美作大学 准教授)
副座長 谷村 忠之 (認知症患者家族会 麦の芽会)

嶋田 兼一 (兵庫県立姫路循環器病センター 高齢者脳機能治療室)
東 靖人 (医療法人公仁会 理事長 姫路中央病院附属クリニック院長)
日下部 達也 (神姫バス株式会社 (株)ホープ)
加藤 賢司 (兵庫信用金庫 総務部長)
成定 啓子 (医療法人佑健会 木村病院)
一丸 智司 (株)ぼうしや薬局地域医療推進室)
熊谷 光子 (認知症の人と家族の会 兵庫県支部 代表)
森保 純子 (認知症の人と家族の会 兵庫県支部 世話人)
北島 正紀 (飾磨橋東地区連合自治会)
田中 洋三 (特定非営利活動法人はりま総合福祉評価センター 理事長)

ひめじ おれんち` (ひめじ認知症啓発協議会)

ひめじ おれんち`は、事務局:認定特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センターが事業主体となり、啓発事業の一環として、多様な業種の法人やたくさんの市民の方々による参画・協働により運営されています。

認知症ケア啓発プロジェクト～ひめじおれんぢプロジェクト～



ひめじ認知症啓発協議会（通称：ひめじおれんぢ）
座長 武田英樹（美作大学 准教授）

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ほとんどの催しが中止となってしまいました。そんな中、毎年9月21日の世界アルツハイマーに行っている世界文化遺産・国宝姫路城のライトアップイベントが通常の1日から6日間に延長されての開催となりました。



2016年に「ひめじ認知症啓発協議会（愛称：ひめじおれんぢ）」としてスタートし、今回で5回目のライトアップは、認知症ケアの啓発だけでなく、認知症の方や家族に向けて「いつも見守っていますよ」とのメッセージを含めたものとして、さらにコロナ禍にケアに携わっている医療福祉関係者をはじめ、我々の生活を支えてくれているすべての人々への感謝の思いも込めたものとなりました。

また、新たな取り組みとして関係団体や有志からのメッセージ動画も作成しました。動画内で流れている演奏はここ数年、ライトアップイベントのオープニングからファイナーレまで素晴らしい演奏でイベントを彩ってくれている姫路市立飾磨高等学校吹奏楽部です。

ひめじおれんぢの活動は、医療福祉関係団体だけでなく、高校生、大学生などの若者から一般企業、自治会など多様な人たちによって築き上げられ、賛同してくれる仲間も増えてきました。コロナに負けず、誰もが住み慣れた地域で生活していける持続可能な社会づくりに寄与していく所存です。これからも本活動への理解、応援、参加のほど、よろしくお願いいたします。

進めよう！ 深めよう！ わがまちの認知症ケア！

コロナ禍でウオークも自粛



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
認知症啓発ウオーク担当

谷村 忠之（認知症患者家族会 麦の芽会）

2019年11月の終わりに、中国の武漢で初めて検出されたコロナウイルス感染症が瞬く間に世界に蔓延し、日本では2020年1月16日に武漢からの帰国者に感染が確認された。その後感染は拡大し、4月には全都道府県に非常事態宣言が発出され、5月下旬に一応は解除された。しかし収まる様子は見えず、ひめじおれんぢプロジェクトも感染拡大を避けるため、市民会館でのイベント、駅前広場での集まり、啓発ウオークを自粛することになった。ただ、姫路城は9月21日から一週間オレンジライトアップし認知症ケアを訴えた。

大手前公園から姫路駅までの認知症啓発ウオークは2016年に始まり今年5回目となる筈でした。毎年、警察へのパレードの承認申請に始まり、商店街会長さんへの挨拶と協力要請。台風シーズンなので台風の進路・雨の対応を心配しながらのイベントでした。

認知症の人と家族の会・ひめじおれんぢプロジェクトの幟を先頭に、認知症啓発カラーのオレンジ色のTシャツ・ビブス等で揃え、認知症ケアを訴える40名余の啓発ウオークは、商店街の方々には恒例行事になってきていたと思います。また、参加してくれた大学生・高校生には認知症ケアへの意識がさらに高まったでしょうし意義はあったと考えています。

2020年は残念ながら中止になりましたが、2021年度にはまた復活し、街の人々に認知症ケアを呼び掛けたいと思っています。





ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
兵庫県立姫路循環器病センター

高齢者脳機能治療室
嶋田 兼一

昨年度に引き続きコロナ感染蔓延のため、当院の診療機能も抑制せざるを得ない状況にあります。当室の入院は原則休止中で、一般病棟でも対応可能な精査目的の方のみ少数入院していただいております。従来、入院加療していただいていた精神行動障害の患者さんは外来薬物療法にて対応するか、近隣の連携精神病院に加療依頼しております。独居認知症患者さんのうち早急に保護環境下に置くことが望ましい方は、地域包括支援センターやケアマネージャーと連携して安全確保に努めております。

外来患者さんについては、入所中の施設の要望で通院抑制となったり、遠方在住の家族が来院できなくなったため終診となった方も少なからずおられます。そのため再診患者数は減少しておりますが、初診患者については減少していません。通所中の施設が休止したため認知症が悪化して受診される方、家族と接する機会が増えたために認知機能の異常に気付かれる方が少なからず居られます。

こういった診療状況の変化に伴い、訪問医療や訪問福祉サービスとの協力が重要性を増しております。医療連携の重要性は以前から唱えられていることではありますが、猖獗を極める感染症が時代を進めていることを実感しております。

認知症関連の学会や研究会もWEB開催が常態となっており、当センターが行っております講演会もWEBあるいはHybrid開催に移行しました。歴史を振り返ってみれば、古代に日本に流入した天然痘、戦国時代に流行した梅毒、明治時代開国後に流行したコレラや結核はいずれも社会制度の変革を進める契機となりました。現在、コロナ感染症の脅威に曝されている私たちも、コロナを奇禍として医療制度や社会制度を時代に即した形に改めていくことが肝要と思われまます。

コロナウイルスはいずれ弱毒化して私達と共存していくことになるでしょう。コロナウイルスを過大に怖れることなく、必要な衛生対策を講じながら通常の日常生活を取り戻していきたいと考えます。

ひめじ おれんち プロジェクトによせて



ひめじ認知症啓発協議会 委員

(医療法人公仁会 理事長 姫路中央病院附属クリニック院長)
東 靖人

認知症は大変、数の多い病気で経過も長く、診断、治療、療養、介護のためにいろいろな時期に、いろいろな職種が、異なった技術を持ってアプローチが必要な病気です。

当院は2018年10月から兵庫県指定の認知症疾患医療センターとして活動しています。この一年間は新型コロナウイルス感染症により、いろいろな活動が制限されましたが、その中でも受診者の方々は来院され、診療を継続できています。また、啓蒙のための講演会などもウェブで行う事ができるようになり、アンケートによれば便利なことや親しみやすい事があり好評のようです。コロナを奇貨として、新しい事に取り組んでいけるチャンスにしたいと思っています。

このひめじおれんちプロジェクトも同様にコロナの洗礼を受けています。「進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア！」が合い言葉のこのプロジェクトですが、なんと一体感のある素晴らしい合い言葉でしょう。お城をオレンジ色に染めて、みんなが認知症を考える時間を持てるのが大切であると考えます。

私達の姫路中央病院もこのプロジェクトに参加させていただき、及ばずながら、当地の認知症疾患医療センターとして活動してゆきたいと思っています。



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員

(飾磨橋東地区連合自治会)
北島 正紀

ひめじおれんちの活動は新型コロナウイルス感染症の影響から、講演会活動や啓発イベントなどは中止を余儀なくされました。「オレンジカフェしかま」の活動についても再開できたと思う間もなく、「まん延防止等…」そして「緊急事態宣言」でまたもや中止のやむなきに至る。令和3年7月30日「オレンジカフェしかま」が再開できました。令和2年2月から中止して1年7か月ぶりの開催でした。令和2年度は5周年に当たり、ここに至るまでの道のりと、再開するに当たりコロナ対策の繰り返しの安全確認は、開催できる相互確認がいつの間にか身につき、出来上がっていた事にびっくりした次第です。再開当日は、お天気も上々受付では本当にしばらくぶりのボランティアと参加者の皆さんとの控え目のうれしい会話から再開してよかったとの思いが強く感じました。

今月の催しは、いまだコロナ禍の中での「ヘルマンハーブの演奏と先生の語り」をお願いして5周年を飾って頂きました。終わりはこの催しの定番「認知症予防健康体操」で閉めました。短い時間ではありましたが久しぶりの手拍子、ハミングなどして気分が和らいたと帰りの言葉があり、後姿が楽しそうでした。

飾磨橋東地区連合自治会は「オレンジカフェしかま」の地域活動の新たな繋がりを持って頂くためにも、日常生活の基盤づくりとして根づく認知症の理解と予防の一環として地域の皆様と共に創り上げていきたいと強く願っています。開催にあたり、南保健センター様、飾磨地域包括支援センターの皆様のご協力に感謝申し上げます。

「コロナ禍におけるひめじおれんぢの活動」



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
(株)ぼうしや薬局 地域医療推進室
一丸 智司

私は、“ひめじ認知症啓発協議会”の実行委員メンバーとして、世界アルツハイマーデーである9月21日に開催される「姫路城おれんぢライトアップイベント」にこれまで4年連続で参加して参りました。しかし5年目だと楽しみにしていたこの2020年は、ご周知の通り新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ライトアップイベントは中止を余儀なくされました。

実行委員メンバー間で、何かできることはないかとメーリングリストやWeb会議なども利用しながら、活発な意見交換を行いました。「このようなご時世だからこそ、認知症の方が孤独にならないようしっかり啓発活動を通してケアする必要があるのではないか」といった意見もあり、例年と形は異なりましたが、YouTubeにおいて多数の賛同くださる市民の皆様の出演のもと、ライトアップ動画を作成・公開するに至りました。(https://youtu.be/YZmizg9Z2NM) たくさんの方々の思いが詰まったものに仕上がったと思いますので、是非ご視聴いただければと思っています。

毎年感じるのですが、認知症の啓発は、1回のイベントや取り組みだけで大きく前に進むものではないかもしれません。しかし、一歩も踏み出すことなく啓発活動を前に進めることはできません。今回の姫路城ライトアップ動画が、姫路における認知症啓発の活動にとって継続的な足掛かりとなるよう、また「薬局薬剤師として果たせる役割は何か」を常に問い続けながら、今後も取り組みを継続して参りたいと思います。



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
(神姫バスグループ (株)ケアサービス神姫)
日下部 達也

神姫バスグループ株式会社ホープの介護部門を分割、設立しました株式会社ケアサービス神姫でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて新型コロナウイルスが発生してから既に1年以上経過しましたが、未だにコロナ関連のニュースが絶えることはありません。コロナ対策として不要不急の外出自粛、休業要請、入場制限など、とにかく人と人との接触を避けるという、つい2年程前までは想像もしていなかった世の中が変わってしまいました。この「ひめじおれんぢプロジェクト」においても例外ではなく、去年は人が集まるイベントに関して中止せざるを得なくなりました。そこで今後も啓発活動を継続していくために留意すべきは次の2点であると考えます。

1点目は、都市部を中心に変異株も含めて新規感染者数が毎日のように増加し続けているという点です。確かに感染拡大の防止と経済活動の両立という非常に難しい課題はあるものの、ワクチンや治療薬によってコロナを抑え込むその日までは、まず自分たちで出来る対策をやっていくしかないということです。人と人が極力会わないようにするため、やはり各々が注意して密を避けること、こちらとしては密を作らないことなどの対策を徹底すべきであります。

2点目は、コロナ禍のため数多くの企業において厳しい経営状況を強いられているという点です。「ひめじおれんぢプロジェクト」がこれまで活動を続けることが出来たのは一般の方々、企業・団体からの暖かく貴重な寄付があったからに他なりません。公的資金に頼らず、寄付のみで成立させてきたことは大変素晴らしいのですが、企業は今まさに生き残れるかどうかという瀬戸際の状態になっています。ですから今までのように寄付を集めることは極めて困難であると言わざるを得ません。

全てが元通りの生活に戻るにはあとどれくらいかかるのでしょうか。あるいは完全に戻ることはもうないのかも知れません。上記2点を踏まえ、今後の活動として例えばネットをフル活用して情報発信するなど、人を集めず、かつコストをかけない形を模索していく必要があると思います。とは言え、どのような形に変わったとしても今後もより多くの方々に認知症に対する関心を持ってもらい、みんなで認知症の方を見守ることが出来る心優しい社会を実現したいという気持ちに変わりありません。



ひめじ認知症啓発協議会 委員
(医療法人佑健会 木村病院)
成定 啓子

令和2年の世界アルツハイマーデーは、今までにない状況下で迎えることになりました。世界中に新型コロナウイルスが蔓延し、人と人が繋がることができなくなったからです。

このような状況下で、認知症の方の繋がりも減少してしまっただけではないでしょうか。認知症が進行した方や発症した方もいるかもしれません。病院や施設でも面会が制限され、会いたい家族に会えない状況となり、それは今も続いています。私自身、これほど人に会うことに飢えた日々は過去に経験がありません。そして人が出会い、繋がることがどれだけ生きる支えになってきたかを思い知らされました。

このような状況下でも、できることを…と動画で世界アルツハイマーデーを姫路おれんちとして発信しました。仲間を募る方法も限られていて、実際に会うことはばかられる状況でしたが、快く協力してくれる仲間がいて、動画を作成することができました。

「みんな一緒！ Withコロナ！ With認知症！ With You!」をテーマに、誰にでも起こりうる認知症を特別なことにしない、そして会えなくても近くに誰がいることを感じてほしい(私自身も感じていたい)という思いで作成しました。束の間でしたが、集まってどこでどのように動画をとるかを考え作成する過程は、とても有意義でした。協力してくれた仲間へ心から感謝します。

これからどのような社会になっていくのか不安もありますが、社会を創る一人としてできることを仲間と力を合わせて進めていきたいと思っています。



ひめじ認知症啓発協議会 委員
(認知症の人と家族の会 兵庫県支部 世話人)
森保 純子

公益社団法人認知症の人と家族の会兵庫県支部世話人の森保純子と申します。第2回のライトアップイベントから実行委員会に参加し、3度のステージ進行を経験しました。少しずつ「ひめじおれんち」の活動が地域の皆様に知られていき、来年はもっともっと！と思っていたのですが、残念ながら昨年度はステージイベントを開くことはできませんでした。生活が一変しましたが、一方で、私たちの生活は続いていて、当然、介護や福祉的支援を必要としている方の生活も続いています。認知症がある方は、この変化や制限へのストレスがより一層大きいことでしょう。そして、ご家族や支援されている方は、介護により一層気を使っていることなのでしょう。

今年度は、動画でのメッセージ発信でしたが、私たちの心の中にはきちんと認知症の人とご家族・支援者への思いがあることをお伝えできていれば幸いです。また、動画を見ていただいた方にも、その思いを今一度確かめていただければ、より良い地域社会の実現に近づくものだと感じています。まだまだこれからも、できることを探して続けていきたいと思っています。



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
(NPO法人はりま総合福祉評価センター)
田中 洋三

米製薬会社バイオジェンと日本の製薬会社エーザイが共同開発したアルツハイマー病の治療薬「アデュカヌマブ」が認知症の新しい薬として登場しました。科学の進歩によって認知症の抱える課題が解決されることに大いに期待します。しかしながら、認知症の抱える課題が一粒の薬ですべてが解決できると思えず、やはり私たち自身が認知症に関心をもって、正しく理解して、『我が事』・『丸ごと』のこととして捉える姿勢を持つことの必要性は変わらないでしょう。今は私たちの日常に登場する認知症が手ごわくて忌み嫌われて生活を脅かす存在ですが、もしも、家族や地域の人たちに正しく理解して、『我が事』・『丸ごと』のこととして捉えられて、認知症の人たちが不安なく穏やかに生活できれば、認知症が怖い病気ではなくなるでしょう。そしてそれは必ずや他の地域の課題解決に繋がります。

世界アルツハイマーデーの「姫路城オレンジライトアップ」は一連のイベントを含めて、市民の人たちに認知症に関心を持っていただき、正しく理解して好ましい対応を身に付けてゆく一助になってきています。輪の広がりは認知症を治療すべき病気として捉えるのと同様に、当事者にとっては生活そのものであることを理解して、また、誰もが身に降りかかることとして正しく対応できるスキルを身に付ける人を増やしてきています。コロナ禍の中でも様々な工夫をしながら、手入れをしながらへこたれることなく、あらゆる世代の人たちに呼びかけてその輪を大きくしたいものです。

世界アルツハイマーデーに
姫路城がオレンジ色にライトアップ!



ひめじおれんぢ

9月21日 日没後点灯

h-294.com/orange/



世界アルツハイマーデー
姫路城をオレンジ色にライトアップ



ひめじ おれんぢ プロジェクト2020

進めよう! 深めよう! わがまちの認知症ケア!

「ひとりじゃないよ! Withコロナ・With認知症・With you!」

今年のひめじおれんぢプロジェクトは認知症の方やご家族に
向けて「いつも見守っていますよ」という思いを込めて
姫路城をオレンジ色にライトアップします。

☆ライトアップ期間☆
9月21日(月)~9月26日(土)
いずれも日没後~午前0時まで

ホームページを随時更新しています。是非ご覧ください。

ひめじおれんぢ

検索



主催: ひめじ おれんぢ プロジェクト(ひめじ認知症啓発協議会)
共催: 播磨姫路圏域認知症患者医療センター(兵庫県立姫路循環器病センター・姫路中央病院)
後援: 姫路市
実行委員: 妻の芽会・飾磨播磨東地区連合自治会・神姫バス・中播磨認知症患者医療センター
認知症の人と家族の会兵庫県支部・はりま総合福祉評価センター・姫路中央病院・兵庫信用金庫
ぽうしや薬局

お問い合わせ事務局: 特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センター
姫路市安田3丁目1番地 姫路市総合福祉会館3F
TEL: 079-287-3000 FAX: 079-287-3200 MAIL: hama-3@h-294.com

ホームページ: <http://h-294.com/orange/>



認知症見守る オレンジの光

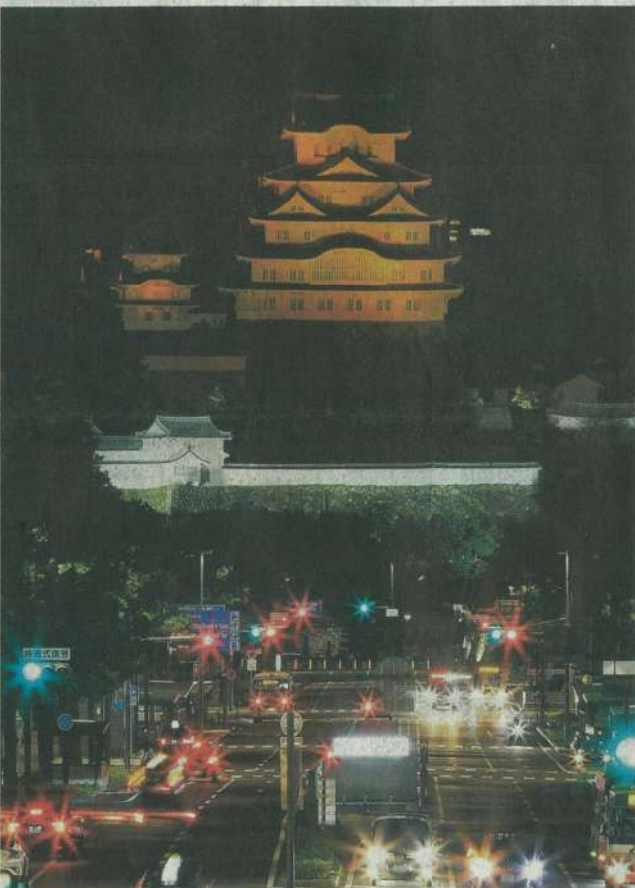
世界アルツハイマーデー、姫路城

認知症の人や家族を支える地域の輪を広げようと、「世界アルツハイマーデー」の21日夜、姫路市の世界文化遺産・国宝姫路城が、活動のシンボルカラーとなっているオレンジ色にライトアップされた。

厚生労働省の推計では、認知症の人は2025年、65歳以上の5人に1人に当たる700万人に達する。公益社団法人「認知症の人と家族の会」(京都市)によると、ライトアップは21日を中心に過去最多の全

国100カ所で行われる。コロナ禍のため、街頭の啓発活動や講演は見送られた。兵庫では明石海峡大橋や龍野城などもオレンジ色に染まった。姫路城での取り組みを企画したひめじ認知

症啓発協議会の田中洋三さん(67)は「患者や家族を孤立させないことが大切。見守っていますよ、という思いが伝われば」と話した。姫路城は26日まで実施する。(小林良多)



世界アルツハイマーデーに合わせ、オレンジ色に照らされた姫路城=21日夜、姫路市内



【2020年度 活動実績】



2020年度の活動は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、みなさんから頂いたビデオメッセージと姫路市立飾磨高等学校吹奏楽部のみなさんの演奏にあわせ、「ひめじおれんぢプロジェクト2020」を作成しました。



YouTube
QRコードはこちら⇒

Saxophone

Bass

Drum Set

Clarinet



Trombone

Trumpet

HORN

Percussion





協賛金・寄付金のご協力のお礼

認知症の啓発活動として、姫路城のオレンジライトアップを行い、皆様方に協賛金・寄付金をお願いしてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により一時は、ライトアップが危ぶまれましたが、皆様方からご寄付いただいた資金によって、無事に各啓発活動を実施することができました。

2020年度(令和2年度)は5回目の活動となりましたが、多くの法人・団体様をはじめ、個人の皆様方からも、ご協賛あるいは、ご寄付を頂きました。また、職種を超えた多方面にわたる多くの方々から、活動にご協力をいただき、本当にありがとうございました。

ひめじ おれんち` は、今後も認知症の啓発活動として姫路城オレンジライトアップをはじめ、様々な啓発活動に取り組むべく活動を継続してまいります。

皆様方からの引き続き変わらぬご支援、ご理解とご協力を頂けますよう、お願いいたします。

ご支援いただき、ありがとうございました。
ご寄附・ご協賛いただきました個人様・法人、団体様をご紹介します。

中島 三郎 様


フクヤマ トモジ 様

庄司 茂事務所 様



あなたの、いちばん近くにある安心。

 **クオール薬局**
Quality Of Life

 株式会社エム・シー

デイサービスセンター
ゆめさき

TEL:079-237-8723



(広畑)

デイハウス
あいえる
(野里)

デイハウス
あいえる

TEL:079-289-3654

<http://www.mc-evoke.jp>

有限会社BLOOM

たつの市龍野町中霞城149

デイサービス ひなた

デイサービス 縁

デイサービス 清か

ひめじ おれんち`プロジェクト

進めよう! 深めよう! わがまちの認知症ケア!





医療法人 公仁会

姫路中央病院

姫路中央病院附属クリニック

(兵庫県認知症疾患医療センター)

〒672-8501

兵庫県姫路市飾磨区三宅2丁目36番地

TEL: 079-235-7353

FAX: 079-233-0854

お問合せ窓口

訪問看護ステーション・いなほ

24時間対応致します。

職員募集中

〒671-1575

兵庫県揖保郡太子町作用岡965-3

電話: 079-277-7110

FAX: 079-277-7120



特定医療法人 恵風会 高岡病院

(認知症疾患医療センター)

人間愛に基づいた医療・介護・福祉を行い社会に貢献します。

診療科目: 精神科 心療内科 神経内科 児童・思春期外来

〒670-0061

兵庫県姫路市西今宿5丁目3番8号

TEL: 079-293-3315 (代表)

FAX: 079-284-5311

ヘルパーステーション かけはし
介護タクシー かけはし

コミュニケーションを重視した

サービスに取り組んでいます。

〒672-8016

兵庫県姫路市木場1270

TEL: 079-246-8330



ひめじ おれんち`プロジェクト

進めよう! 深めよう! わがまちの認知症ケア!



医療法人社団 健裕会

(代表)

079-235-5566

中谷病院
NAKATANI HOSPITAL

(総合健診室)

079-235-3162



中谷病院は喘息治療アレルギー花粉症の専門医として
地域の皆様にご愛顧いただいております

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 16:00~18:00	○	○	/	○	○	/

診療科: 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 アレルギー内科
リハビリテーション科 人工透析内科 禁煙外来 喘息治療

アクセス: 山陽電鉄飾磨駅より徒歩10分 神姫バス飾磨工業高校前

672-8064 姫路市飾磨区細江2501

(リバーシティー東側 駐車場あり)



マスコットキャラクター: なかびー

中谷病院



<http://www.kenyu-kai.com/>

NPO法人 がじゅまる

居宅介護支援事業所
がじゅまる

たつの市龍野町北龍野454

TEL: 0791-63-3644

FAX: 0791-63-3644



絵師PJUN

ひめじ おれんち`プロジェクト

進めよう! 深めよう! わがまちの認知症ケア!



あなたが健康だと、だれかがうれしい。

当社は、SOMPOグループの生命保険会社です。
保険本来の機能（Insurance）に健康を応援する機能（healthcare）を組み合わせた造語「Insurhealth®」を通じ、「健康応援企業」として新たな価値を提供いたします。



SOMPO
ひまわり生命

SOMPOひまわり生命保険株式会社 兵庫支社
〒670-0927 兵庫県姫路市駅前町60 マルイト姫路ビル1階
TEL : 050-2016-8604 FAX : 079-284-5765
<https://www.himawari-life.co.jp/>

マインズグループは
認知症の啓発に取り組んでいます

- ・労働者派遣事業
- ・紹介予定派遣事業
- ・人材紹介事業



地元即戦力人材をインソーシング

HakkeeeeN!!

地域最大級求人情報サイト

M's
Minds



M's HR
M's HR
社会保険労務士法人

ひようごHC戦略ラボ

「採用戦略」「労務管理戦略」
の研究会

官公庁サービス

【連携自治体】

兵庫県（姫路市・神戸市・加古川市・明石市・宍粟市・加西市等）
厚生労働省（労働局・県内ハローワーク）・
近畿経済産業局・中小企業庁・中播磨県民センター等



各種お問い合わせは

株式会社マインズ

<https://minds-z.co.jp>

【本社】

姫路市東延末2丁目24番地 アークビル1F
TEL 079-225-8866 FAX 079-225-8867

【神戸支店】

神戸市中央区浪花町64番 三宮電ビル2F B号
TEL 078-381-6971 FAX 078-381-6972

M'sHR 社会保険労務士法人

<https://mshr-sr.jp>

姫路市東延末2丁目24番地 アークビル2F
TEL 079-280-1340 FAX 079-225-8867